

気象庁には大学がある。

気象大学校



地球科学に特化した単科大学

地球物理学を学べる単科大学

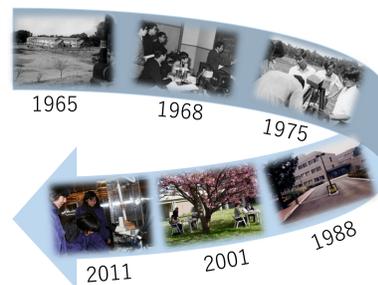
気象大学校は、地球物理学（気象・地象・水象）の素養を持った気象庁の中核となる職員を養成する大学校です。気象庁職員として採用された高卒者（卒業後2年以内）が、千葉県柏市で学生生活を送ります。1学年約15人の少人数教育と寮生活による全人格教育が特徴で、1922年創立の伝統校です。

2025年度在校生

	1年生	2年生	3年生	4年生
男子数	14	9	6	14
女子数	5	8	2	2



2024



2025年は気象業務開始150周年

気象庁業務に直結したカリキュラム

気象庁での職務に必要な知識と技術を身に付け、中核職員にふさわしい能力を養うため、カリキュラムには、基礎的な数学・物理学・化学、専門的な地球科学一般に加え、語学・人文科学などの教養、情報通信・行政・防災の知識、実践的な実習・演習を取り入れています。卒業時には学位授与機構から学士（理学）の学位を認められます。

学生60人に対し、専任教官26名、非常勤講師10名の手厚い体制が組まれています。卒業研究では、教官からマンツーマンの指導を受けることができます。

最近6年間の卒業研究の分野別件数

	気象	気候	海洋	地震	火山	地球深部	化学	数学	基礎物理	情報	防災
卒研数	40	9	4	11	8	3	3	2	1	3	3

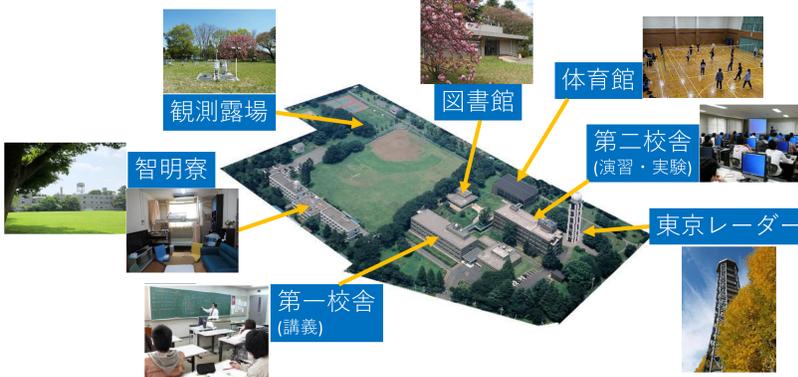


教育課程は教養、基礎、専門の3系列で構成されています。専門系列の気象、地象、水象の分野に即して、気象業務に直結した専門的な教育を行います。	1年	2年	3年	4年
教養	英語A・B	英語C	英語D	英語E
基礎	数学I、II 物理I、II 化学I、II 情報基礎	数学III 物理III 化学III 情報基礎	物理基礎 物理I 物理II 物理III	物理基礎 物理I 物理II 物理III
専門	気象学 地象学 水象学	気象学 地象学 水象学	気象学 地象学 水象学	気象学 地象学 水象学
教養	科学史、哲学、論理学、法、社会学 第二外国語(中国語、仏語)	心理学、文学、倫理学、経済学、社会学 第二外国語(中国語、仏語)	第二外国語(中国語、仏語)	第二外国語(中国語、仏語)
実習	気象学実習 地象学実習 水象学実習	気象学実習 地象学実習 水象学実習	気象学実習 地象学実習 水象学実習	気象学実習 地象学実習 水象学実習
学位	学士(理学)	学士(理学)	学士(理学)	学士(理学)
特徴	気象業務への知識を深め、防災行政分野をはじめとする幅広い知識を習得します。気象庁内外で活躍中の講師による講義、職場実習など職務の最前線に即した実践的な授業です。	気象業務への知識を深め、防災行政分野をはじめとする幅広い知識を習得します。気象庁内外で活躍中の講師による講義、職場実習など職務の最前線に即した実践的な授業です。	気象業務への知識を深め、防災行政分野をはじめとする幅広い知識を習得します。気象庁内外で活躍中の講師による講義、職場実習など職務の最前線に即した実践的な授業です。	気象業務への知識を深め、防災行政分野をはじめとする幅広い知識を習得します。気象庁内外で活躍中の講師による講義、職場実習など職務の最前線に即した実践的な授業です。

授業料無料、給料支給、寮完備

気象大学校は、授業料・入学金無料です。制服はありません。学生は気象庁所属の国家公務員なので、高卒公務員に準ずる月給（約18万円）が支給され、諸手当、休暇、医療保障、年金も国土交通省の国家公務員として保障されます。すでに気象庁職員なので、就活は不要です。

原則として学生は大学校敷地内の智明寮に住んでいます（寮費無料、諸経費あり、食費は自己負担）、寮以外に住むこともできます。寮の生活は、学生による寮運営委員会が中心になって学生の話し合いで決められています。



大学生を職業に。

年間スケジュール	
4月	入学式、前期開始、体育祭
7月下旬-8月	夏季学修期間 オープンキャンパス、官署見学 観測実習、職場実習
9月	前期末試験
10月	後期開始
12月下旬-1月上旬	冬季学修期間
2月	後期末試験、卒業研究発表
3月	体育祭、卒業式

1日のスケジュール	
08:30-12:00	講義
12:00-13:00	昼休み
13:00-16:30	講義
16:30-17:15	課外活動

大学校の生活

大学校は2学期制で、4-9月が前期、10-3月が後期です。朝8:30から夕方16:30に講義があり、17:15までは課外活動時間です。

行事では、体育祭（春季・冬季）やオープンキャンパスに加えて、学生主催の様々な催しがあります。

卒業後の進路

大学校卒業後は、全国各地の地方气象台や東京の気象庁本庁での様々な仕事に従事します。その数年後には、管区气象台や気象庁本庁で働くことになる人が多いです。南極観測隊に参加する人や、WMOなどの国際機関や他省庁に出向する人、気象研究所で研究をする人もいます。

気象官署で働き始めた後で、人事院の行政官国内研究員制度や行政官長期在外研究員制度、自己啓発休業などを利用して国内外の大学院で学ぶことも可能です。



学校訪問

オープンキャンパス（要予約）：2025年8月2日(土)
予約開始は7月1日を予定
講演会（仮称、予約不要）：11月ごろ
見学は随時受付

入試（採用試験）スケジュール

国家公務員気象大学校学生採用試験

出願（オンライン）：2025年8月21日(木)9:00~9月8日(月)受信有効
第1次試験：10月25日(土)、26日(日)
第1次試験合格発表：12月5日(金)
第2次試験：12月12日(金)
最終合格発表：2026年1月15日(木)
採用最終決定：2026年3月末ごろ



最終合格者数は、入学辞退者がいることを考慮して採用予定数より多くなります。最終合格者は採用候補者名簿に得点順に記載されており、この名簿の中から採用者（入校者）が選ばれます。

人事院HP 気象大学校 学生採用試験ページ
気象大学校HP 入試情報ページ

